



piko (ピコ) とはハワイの言葉で ・ヘそ・丘または山の頂上、ひいては中心を意味する。
 ジェームス・ジャック氏はホノルルで、pikoの渦巻き模様を用い
 地域の人々の言葉を聞き出し、紡いでいく課程から、
 彼らの中心にある「何か」をあぶり出す試みを行った。

今回のトークでは、
 ジェームス氏のこれまでの活動や、各地で行っているの実践を手法を取り上げながら
 その活動の意義や目的、私たちの中にある” piko” について考える

ジェームス・ジャック



アーティスト、ニューヨーク出身
 東京藝術大学博士課程卒業
 九州大学SAL研究員を経て
 現在、シンガポール・イェールNUS大学講師を務める
 ホノルル美術館での展覧会。瀬戸内国際芸術祭をはじめ、
 世界各国の展覧会へ参加。
 コミュニティを繋げるアートの可能性について研究している

参加
無料



主催 富士の山ビエンナーレ実行委員会
共催 静岡県文化プログラム推進委員会

『富士の山現代アートをかたらう会』略して“FGAK”です。
現代アートが好きな人も、よくわからない人も、一緒に語らしましょう。

第2回FGAK
in 蒲原 9/28(土) 18:30~
20:00

会場：国登録有形文化財 旧五十嵐邸歯科医院

静岡県静岡市清水区蒲原3-23-3 TEL: 054-385-2023

FGAK
の
テーマ



2020年秋、富士山を望む「由比／蒲原／富士川／富士／富士宮」エリアで
現代アートの展覧会『富士の山ビエンナーレ2020』を開催予定

『コミュニティをつなげるアート、
ホノルルと小豆島での実践について』

講師 ジェームズ・ジャック 氏

講演内容

地域の人々や社会と繋がり、コミュニティをつなげる、ご自身のアート作品について。
瀬戸内国際芸術祭、ホノルルでの事例から、アートの持つ可能性をお話しいたします。

講演終了後、
フジノヤマ・ビエンナーレ・サポーターズのミーティングを
開催いたします。

FGAKは、みんなで気軽に話し合える場でどなたでも参加できます。
途中入場、途中退席自由ですのでお気軽に会場にお越しください。

お問い合わせ：富士の山ビエンナーレ実行委員会 TEL:0545-81-0063
E-mail:contact@fujinoyama-biennale.com
http://fujinoyama-biennale.com